



## 学長挨拶

G R E E T I N G

北九州市立大学国際環境工学部は、21世紀におけるアジアの学術研究拠点、産学官連携の知の拠点として若松区「ひびきの」地区に建設された北九州学術研究都市内に、平成13年4月に開設され、このたび開設10周年を迎えました。これもひとえに、関係の皆様のご協力のご賜物と深く感謝いたします。

北九州市立大学は、昭和21年に小倉外事専門学校として開設され、文系の大学として伝統を育んでまいりました。「環境の世紀」といわれる21世紀の最初の年に本学の5番目の学部として理系の国際環境工学部が産声を上げ、以来多くの研究成果をあげるとともに、優秀な人材の育成にも努めてまいりました。これまでご支援をいただいた多くの方々に心からお礼申し上げます。

さて、先に日本経済新聞社が実施した「大学の地域貢献度ランキング調査」では、平成20年の調査以来3年ぶりに、本学が総合ランキングで全国第1位となりました。また、調査項目別の「企業・行政などに関する設問」でも全国第1位となっています。この調査では、これまでに国際環境工学部が企業との共同研究に力を注いできたことなどが高く評価されたものです。

北九州市が、環境未来都市、そして世界の環境首都を目指す中、本学では、今年度からスタートした第二期中期計画の中で「環境と産業に関する研究と技術開発の推進」を掲げています。東日本大震災以降、環境分野における研究と技術開発はその重要度が高まっており、本学は、災害対策技術の研究を中核とする環境技術研究所を設置し、さらなる研究成果を上げていきたいと考えています。

今後も関係の皆様のお力添えを賜りながら、大学の原点である「教育研究」はもとより、公立大学の使命である「社会貢献」の質を一層高め、学生をはじめ社会から「選ばれる大学」へと大学のプレゼンスを高めていく所存です。ますますのご支援とご協力をお願いいたします。